

“モノづくり”の基盤技術・研削作業の最適化で機械加工の実力アップ

初歩から学ぶ精密研削加工

日時 2022年2月25日(金) 10:00~17:00
(9:30 受付開始)

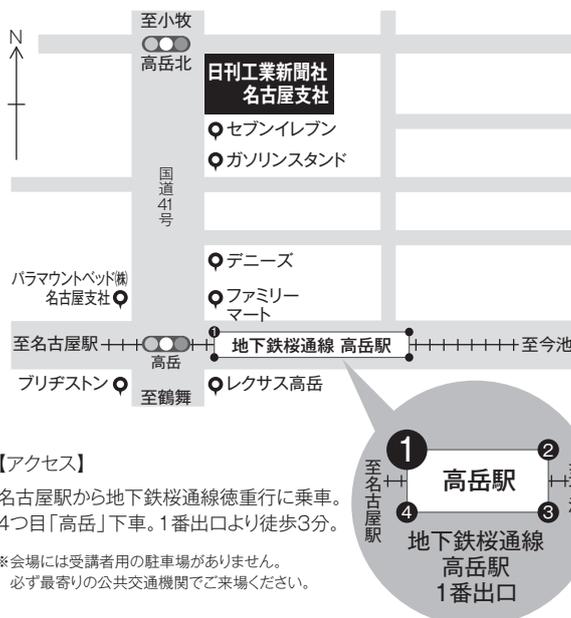
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 44,000円(資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG

TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

2/25 精密研削

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp 郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.217605

開催主旨

研削加工は、仕上げに用いられることが多く、寸法・形状精度の他、表面粗さや研削焼け・割れなどの表面品質が問題となります。そのため他の機械加工作業と比較し、研削作業には熟練した技能が必要とされています。

その原因の一つに、自生作用を有する研削砥石という特殊な工具を用いることがあります。そして研削作業のトラブルの大多数が砥石選択の誤りにあると言われていています。そのため研削作業を上手に行うには、作業目的に応じた適切な砥石を選択することが大切です。また適切な砥石を選択したとしても、そのコンディショニングが上手に行われていないと、良好な研削作業はできません。そのため適切なツルージングやドレッシング方法や作業条件を選択することも重要です。

本セミナーでは、このような研削加工の基礎知識と研削作業の基本を、比較的経験の浅い方達にも分かりやすく解説するとともに、環境対応形研削などの最新研削技術についても紹介致します。是非、技能向上とともに、多能工化を目的とした人材育成により、企業体質の改善を図っていただきたいと思います。どうぞ奮ってご参加ください。

講師

基盤加工技術研究所 代表

職業能力開発総合大学校 名誉教授 工学博士 **海野 邦昭** 氏

【略歴】 職業訓練大学校卒業。東京大学工学博士。ILOトリノセンターアドバイザー。元・職業能力開発総合大学校精密機械システム工学科教授。精密工学会フェロー、精密工学会名誉会員、精密工学会理事、砥粒加工学会理事等を歴任。2010年4月「基盤加工技術研究所」設立。主な著書に「研削加工の基礎のきそ」「切削加工の基礎のきそ」「絵とき研削加工の実務」（日刊工業新聞社）、「CBN・ダイヤモンドホイールの使い方」（工業調査会）、「次世代への高度熟練技能の継承」（アグネ承風社）等 多数。

プログラム

1. 研削加工の基礎知識

- 1-1 研削加工とは
- 1-2 研削加工の様式

2. 研削理論の基礎知識

- 2-1 「切削」と「研削」
 - a. 刃物の切れ味とは b. 切削と研削の特性の違い
 - c. 研削焼けと割れ d. 接触弧の長さ
 - e. 工作物の変形
- 2-2 いろいろな研削形態
 - a. 目こぼれ形研削 b. 目つぶれ形研削
 - c. 目つまり形研削 d. 砥粒に作用する力と研削形態
- 2-3 研削時に砥石に作用する力
 - a. 平均切りくず断面積
 - b. 砥粒間隔と有効切れ刃間隔
 - c. 作用硬さとは
- 2-4 除去速度と各種研削方式
 - a. 除去速度とは b. 比研削エネルギー
 - c. 精密・軽研削と高能率・重研削
 - d. 高切り込み・低速送り研削と低切り込み・高速送り研削
 - e. 高速研削とその特性
- 2-5 最大砥粒切り込み深さと臨界砥粒押し込み深さ
 - a. 最大砥粒切り込み深さ
 - b. マイクロツルージング
 - c. 硬脆材料の圧子押し込み深さとDc値
 - d. 延性モード研削と脆性モード研削

3. 研削砥石の基礎知識

- 3-1 研削砥石とは
 - a. 研削砥石の構造
 - b. 研削砥石と超砥粒ホイール
 - c. ブリッジタイプとマトリックスタイプ
- 3-2 研削砥石の内容の表示
 - a. 研削砥石とラベル b. 仕様の表示内容
 - c. 最高使用周速度 d. 超砥粒ホイールの仕様表示
- 3-3 研削砥石の5因子とその選択
 - a. 砥粒の種類 b. 砥粒の特性
 - c. 砥粒の種類を選択 d. 砥粒の粒度
 - e. 粒度の選択 f. 砥石の結合度とは
 - g. 結合度の選択

- h. 組織（コンセントレーション）とは
- i. 組織（コンセントレーション）の選択
- j. 結合剤の種類
- k. 結合剤の種類の選択

4. ツルージング・ドレッシングの基礎知識

- 4-1 単石ダイヤモンドドレッサによる方法
 - a. 単石ダイヤモンドドレッサとは
 - b. 単石ドレッサの種類
 - c. ドレッサの取り付け d. ドレッシング方法
 - e. ドレッサ送り係数
 - f. ドレッシング時のテーブル送り速度
- 4-2 超砥粒ホイールのツルージング・ドレッシング
 - a. マトリックスタイプの場合
 - b. 各種ツルージング・ドレッシング法
- 4-3 研削砥石・遊離砥粒を用いる方法
 - a. 研削砥石を用いる方法
 - b. 遊離砥粒を用いる方法
- 4-4 ダイヤモンド工具を用いる方法
 - a. ダイヤモンドドレッサによる方法
 - b. ダイヤモンドロータリドレッサによる方法
- 4-5 金属を用いる方法
 - a. 軟鋼研削法 b. クラッシングロールによる方法
- 4-6 電気・化学的方法
 - a. 放電加工による方法
 - b. 接触放電ドレッシング
 - c. 電解加工による方法
 - d. 電解インプロセスドレッシング

5. 研削油剤の基礎と環境対応形研削

- 5-1 研削油剤の種類と選択
 - a. 研削油剤の働き b. 研削油剤の種類
 - c. 研削油剤とその選択
- 5-2 研削油剤の供給方法
 - a. ノズルを用いる方法
 - b. 遮蔽板を用いた研削液の供給
- 5-3 環境対応形研削
 - a. MQLとは b. 各種ミスト給油法
 - c. 環境対応形研削事例